

行政・NPO 協働事業助成（NPO 提案型） 実績報告

団体名	市民サポートセンター明石	代表者名	田坂 美代子
事業名	地域におけるゴミ出しサポート		
協働の相手方	明石市コミュニティ推進室		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
平成23年4月～ 平成24年3月	ゴミ出しサポート事業（利用者 39 名 利用回数 1,520 回）
平成23年 4月 5日	「ゴミ出しサポート」案内チラシ 20,000 枚作成
4月8日～14日	西明石地区 16,400 戸にチラシ各戸配布
5月17日	高齢者大学（野々池）にて事業案内
9月 1日	「広報あかし」に掲載 民児協の会長会で事業案内（市役所にて）
9月2日～13日	民児協の各地区定例会にて事業案内（市内 14 か所にて）
10月 2日	コーディネーター養成講座① 「NPO と新しい公共」 柏木 登起（シーズ加古川）
12月11日	コーディネーター養成講座② 「ゴミ出しサポートの意義とシステム」 大園 満子（市民サポートセンター明石）
平成24年 1月	ケアマネ連絡会にて新しいリーフレットを配布
1月27日	高齢者大学（高丘）にて事業案内
2月28日	高齢者大学（衣川）にて事業案内

効果と成果

全国的にも大きな課題であると指摘されている「日常のゴミ出し」について、持続可能なシステムの構築に取り組んだ。

1 回 200 円という利用者負担を求め、サポーターに 100 円、事務局（コーディネーター）に 100 円という料金設定は、地域で支え合うための最低限必要な制度設計であると考えている。無償ボランティアに近いけれど、無償ではないことがポイントである。

利用者は16名から39名に、利用回数は430回から1,520回へと、大幅に拡大し、非常に高いニーズが感じられる。同時にサポートが実施できるということは、担い手が存在するということであり、きちんとしたシステムの構築が地域力を引き出す好例と言える。

## 収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
行政・NPO協働事業助成金 (NPO提案型)	1,000,000
利用料	304,000
自己資金	964
合 計	1,304,964

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直接経費	謝金	892,600	892,600
	旅費	5,920	5,920
	印刷費	181,020	181,020
	その他	68,880	68,880
	小 計	1,148,420	1,148,420
間接経費 (一般管理費)	通信費	66,800	66,800
	消耗品費	89,744	89,744
	小 計	156,544	156,544
合 計		1,304,964	1,304,964